

要 望 書

平成 29 年 11 月 24 日

蒲郡市長
稲 葉 正 吉 殿

形原地区公共交通協議会
会長 天 野 忠 則

1. 要望事項 形原地区支線バス事業の正式運行について

記

形原地区交通空白地解消を目的に、平成 27 年 4 月から形原地区に支線バスが試験運行されました。「乗ってみようあじさいくるりんバス」・「みんなで育てようあじさいくるりんバス」を基本に形原地区公共交通協議会が中心となって、運行事業者「かね一自動車」、形原長寿会、形原地区民生児童委員の協力を得て利用促進を図ってきました。結果、当初の目的通り交通弱者である高齢者の利用が増加しました。買い物や通院、温泉利用、趣味施設利用の他に公共交通機関との接続等「くらしの足」として今では不可欠な存在となりました。

昨今、高齢者の交通事故が多発し社会問題となっており、蒲郡市も高齢者免許証自主返納事業を展開しております。今後、免許証返納高齢者の足確保は喫緊の課題ですが、現に形原地区支線バスの利用者には免許証返納高齢者が固定客となっております。

10 月 31 日に利用者 1 万人達成、記念式典を実施しました。形原地区公共交通協議会では利用促進に向け利用者のご意見ご要望を参考に、愛され親しまれる支線バス運行に一層努力していきます。 つきましては、平成 30 年 4 月以降も形原地区支線バス事業の正式運行につきまして承認頂きますようお願い申し上げます。

<ご参考> 年間利用者実績

☆ 平成 27 年度—3,160 人	便平均乗車 3.4 人
☆ 平成 28 年度—3,927 人	便平均乗車 4.2 人
☆ 平成 29 年度—5,000 人（見込み）	便平均乗車 5.5 人